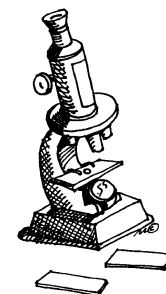



東京都保健医療公社 豊島病院
感染症内科 医師募集



求める人材	1. 感染症専門医をお持ちの方 2. 感染症専門医を目指している方 3. 感染症以外の専門領域を目指す一方で、感染症診療の基本も習得したい方																					
応募条件	医師初期臨床研修を終了していること ※後期研修途中でも採用を考慮します ただし、他病院との契約を残している方は、当院の給与支給の対象にはなりません																					
契約期間	本人の意向を尊重して決定します ● 短期なら、3か月～1年間 ● 長期なら、1年以上（1年ごとに責任医長による実績評価を受けていただきます）																					
診療責任者	<p style="text-align: center;">足立拓也（感染症内科医長）</p> <p style="text-align: center;">日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本感染症学会認定感染症専門医・指導医・評議員</p>																					
対象疾患	1. 感染症法に規定される二類から五類までの感染症、および指定感染症 2. 検疫法に規定される感染症 3. 海外渡航後の発熱や下痢など、上記1や2が疑われる症状 4. ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症、後天性免疫不全症候群（AIDS） 5. 麻疹・風疹・水痘をはじめとする、感染伝播しやすい小児疾患の成人例 6. その他、よくみられる病原体から稀な病原体まで、感染症全般 7. 他科からの抗菌治療に関する相談 8. 感染対策チーム（ICT）回診 9. 抗菌薬適正使用チーム（AST）回診																					
施設の認定状況	<p style="text-align: center;">第二種感染症指定医療機関 エイズ診療拠点病院 日本感染症学会専門医制度認定研修施設</p>																					
感染症法疾患の新規届出数 （2020年度） 外来・入院・ 他科症例を含む	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">二類感染症</td> <td>結核</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td>三類感染症</td> <td>腸管出血性大腸菌感染症</td> <td style="text-align: right;">4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">四類感染症</td> <td>つつが虫病</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>レジオネラ症</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>E型肝炎</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">五類感染症</td> <td>後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>梅毒</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>指定感染症</td> <td>新型コロナウイルス感染症※</td> <td style="text-align: right;">137</td> </tr> </table> <p>※当院で新規診断した症例のみ。前医で診断され、当院に紹介された症例は含まない。</p>	二類感染症	結核	6	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4	四類感染症	つつが虫病	2	レジオネラ症	1	E型肝炎	1	五類感染症	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	2	梅毒	1	指定感染症	新型コロナウイルス感染症※	137
二類感染症	結核	6																				
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4																				
四類感染症	つつが虫病	2																				
	レジオネラ症	1																				
	E型肝炎	1																				
五類感染症	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	2																				
	梅毒	1																				
指定感染症	新型コロナウイルス感染症※	137																				

入院症例の主な内訳 (2020 年度 644 例)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主要疾患</th> <th>病原体／特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症※ 605</td> <td></td> </tr> <tr> <td>肺炎 5</td> <td>肺炎桿菌 1 エンテロバクター 1 不明 3</td> </tr> <tr> <td>化膿性脊椎炎 3</td> <td>黄色ブドウ球菌（感受性株） 1 G群連鎖球菌 1 大腸菌（ESBL 産生株） 1</td> </tr> <tr> <td>蜂窩織炎 2</td> <td>不明 2</td> </tr> <tr> <td>結核 2</td> <td>肺結核 1 結核性筋膿瘍 1</td> </tr> <tr> <td>つつが虫病 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>腎盂腎炎 1</td> <td>Aerococcus + Streptococcus 1</td> </tr> <tr> <td>腸腰筋膿瘍 1</td> <td>Bacteroides + Fusobacterium 1</td> </tr> <tr> <td>HIV 感染症 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本海裂頭条虫症 1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主要疾患	病原体／特記事項	新型コロナウイルス感染症※ 605		肺炎 5	肺炎桿菌 1 エンテロバクター 1 不明 3	化膿性脊椎炎 3	黄色ブドウ球菌（感受性株） 1 G群連鎖球菌 1 大腸菌（ESBL 産生株） 1	蜂窩織炎 2	不明 2	結核 2	肺結核 1 結核性筋膿瘍 1	つつが虫病 2		腎盂腎炎 1	Aerococcus + Streptococcus 1	腸腰筋膿瘍 1	Bacteroides + Fusobacterium 1	HIV 感染症 1		日本海裂頭条虫症 1	
	主要疾患	病原体／特記事項																					
	新型コロナウイルス感染症※ 605																						
	肺炎 5	肺炎桿菌 1 エンテロバクター 1 不明 3																					
	化膿性脊椎炎 3	黄色ブドウ球菌（感受性株） 1 G群連鎖球菌 1 大腸菌（ESBL 産生株） 1																					
	蜂窩織炎 2	不明 2																					
	結核 2	肺結核 1 結核性筋膿瘍 1																					
	つつが虫病 2																						
	腎盂腎炎 1	Aerococcus + Streptococcus 1																					
	腸腰筋膿瘍 1	Bacteroides + Fusobacterium 1																					
	HIV 感染症 1																						
	日本海裂頭条虫症 1																						
※感染症内科が主治医になった症例のみ。他科主治医の症例は含まない。																							
応募手続	見学随時 / 待遇・勤務条件 下記までお問い合わせください																						
問い合わせ	庶務課人事担当 または 感染症内科 足立拓也 takuya_adachi（アットマーク）tokyo-hmt.jp																						
診療責任者より ひとこと	<p>2020 年度は新型コロナウイルス感染症の大規模流行を受けて、患者受け入れを最優先に対応しました。例年の幅広い感染症診療とは大きく異なる 1 年になりましたが、未知の感染症に対して、患者の診察を通して病態の把握に努め、試行錯誤を繰り返しながら治療法を確立していった経験は、貴重な教育機会であったと思います。</p> <p>2021 年度も、当院の感染症診療をともに担っていただける医師を募集します。感染症専門医の方はもちろん、これから専門医を目指す方や、感染症以外の専門に進む方も歓迎します。多様な人材の育成を目指しており、人生設計や個別の事情には、柔軟に対応します。</p> <p>以下の人材は、採用に際して特に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性や子どもに丁寧に対応できる方 ● 英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語を話せる方 ● 途上国経験者 <p>より大きな視野で見たとき、当院の診療ですべての疾患・すべての病原体をカバーできるわけではなく、感染症診療自体が国内で完結するものでもありません。意欲のある人は、海外にも目を向け、国内外の専門家と人脈をつくり、英語で（他の言語でもよい）仕事ができるスキルを習得することを奨励します。当院での経験を、将来のキャリア形成の足掛かりにしてください。</p> <p>優れたロールモデルに出会い、スケールは大きく、かつ細やかな配慮のできる職業人に育っていただけるよう、願っています。応募をお待ちしています。</p>																						
 医長 足立拓也																							